

科目名 Course Name	音楽セラピーⅡ Music TherapyⅡ				ナンバリング No.	D4-005	
年次	2 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	川田 将人						
連絡方法	C-Learning で対応。または講義棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択(アートセラピーユニット)						
関連 DP	DP3, DP4, DP5						
授業の概要と 到達目標	受動的音楽療法を実践し、医療・介護現場での音楽活用にどのような効果があるかについて、心理的指標を用いて調査する。この授業の到達目標は、以下の 4 つである。 ① 音楽の楽しさや幅広い音楽への興味・関心を高め、豊かな感性と音楽的教養を習得する。 ② 音楽療法の有用性について考え、実践に向けて適切な作品を選択することができる。 ③ 音楽療法として、医療現場でミュージックベル・トーンチャイムの演奏ができる。 ④ 音楽にはどのような効果があるかを調査・分析し、的確な考察を述べることができる。						
授業の方法	ディスカッション、グループワークを中心とした授業形態で総合的な実践力の習得を図る。校外授業では、音楽療法の効果を体感し、心理的指標を用いた調査・分析を行う。						
学習成果	L01	グループでの音楽活動を通して、協働性・社会性・責任感のある言動を身に着けることができる。					
	L02	音楽療法の有用性について説明ができる。対象者を考慮した適切な作品を選択し、その実践ができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	毎回、実践したグループワークに対してその場でフィードバックする。						
教科書／ 参考図書	教科書は使用せず、適宜、資料と楽譜の配布をする。						
履修上の留意点 やルール等	●私語や居眠りなど授業態度が悪い場合は減点となる。●携帯電話(楽曲を調べる以外)は使用禁止。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験	●実務経験(職種:演奏家 職歴 10 年) 施設等における慰問コンサートでの利用者との音楽を介した交流経験を活かす。						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	他の履修者と協同して取り組む姿勢、及びグループディスカッション、演習等において、各場面に適した態度であることを評価する。	30					
レポート／作品	校外授業での成果、音楽療法の効果について分析し、レポートとしてまとめる(30 点)、期限内に提出されること(10 点)で評価する。	40					
発表	校外授業での個々の技術と完成度の高い演奏、成果を評価する。		30				
小テスト							
試験							
その他							
合 計		70	30				

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要、学習成果、成績評価、授業での諸注意、ミュージックベルについて
	事前・事後学習	音楽的知識について復習する
2	授業内容	音楽の知識と音楽の活用法① -作品の選定-
	事前・事後学習	医療現場に相応しい選曲をし、譜読みをする。
3	授業内容	音楽の基礎知識と音楽の活用法②
	事前・事後学習	演奏曲について、メロディと和音の譜読みの練習をする。
4	授業内容	医療現場での効果とその活用 音楽基礎知識について
	事前・事後学習	音楽の効果について事例研修をする。
5	授業内容	ミュージックベルとトーンチャイムの実践① -奏法-
	事前・事後学習	選曲した楽曲の譜読みと曲の解釈をする。
6	授業内容	ミュージックベルとトーンチャイムの実践② -実践-
	事前・事後学習	選曲した楽曲の譜読みと曲の解釈をする。
7	授業内容	ミュージックベルとトーンチャイムの実践③ -応用-
	事前・事後学習	選曲した楽曲の譜読みと曲の解釈をする。
8	授業内容	ミュージックベルの効果① -医療現場におけるその効果-
	事前・事後学習	選曲した楽曲の完成を目指して練習をする。
9	授業内容	ミュージックベルの効果② -ホスピスの音楽療法-
	事前・事後学習	レクリエーションの実践に向けた考案をする
10	授業内容	音楽活用法① レクリエーションについて
	事前・事後学習	担当の音を意識して曲の完成度を上げて練習をする。
11	授業内容	音楽活用法② 楽曲の完成度と音楽の効果
	事前・事後学習	音楽的な表現を感じて練習をする。
12	授業内容	音楽活用法③ 施設でのセッションに向けた練習
	事前・事後学習	演奏発表に向けて曲の完成度を上げるための練習をする。
13	授業内容	音楽活用法④ 施設でのセッションに向けたリハーサル
	事前・事後学習	演奏発表の準備と完成度を上げるための練習をする。
14	授業内容	校外授業
	事前・事後学習	校外授業での演奏実践を通して得た達成感とその現場での効果についてレポートにまとめる。
15	授業内容	校外授業の振り返り グループでの分析とレポート(提出締め切り 1 週間以内)
	事前・事後学習	これからの医療現場に必要なケアについて、個々で検討する。